



袋高通信

あいのだより

'19 5月号

5月21日発行

通巻第172号

静岡県立袋井高等学校

自立

校長 宮本 宗明

保護者の皆様、お子様の御入学、二・三年生への進級おめでとうござい
ます。季節に節目があるように、高校
生活にも入学や進級という大切な節目
があります。

始業式の中で二・三年生には、受験
にも部活動の試合にもプレッシャーが
かかるが、乗り越えれば大きく成長す
ると話しました。では、乗り越えるた
めには、どうしたらよいのでしょ
うか。それは受験でも部活動でも自立す
ることではないでしょうか。

私の高校時代の学習方法を振り返る
と「効率が悪かったなあ」と思いま
す。補習や塾に行っていることで勉強
している気になっていました。もっと
自分の学習をしていればよかったですと反

省します。

学習には無条件で吸収する時期と弱
点を克服するために自分の学習をする
時期が必要だと感じています。無条件
で吸収するという事は暗記とほぼ等し
いのですが、暗記するためには理解が
必要です。そのためには授業や補習、
塾も必要です。これが一・二年生の時
期です。

三年生になると自分の弱点に気づ
き、それを克服するために自分の学習
をする時間が必要になります。遅くて
も部活動引退後には、補習や塾でみん
なと同じ時間を過ごしているより、自
分の学習をやりたくならなくてはなり
ません。やらされているのではなく、
やりたくなる。これが学習での自立で
す。

私はずっと剣道部の顧問をしてきま
した。強豪校と対戦した時のこと
です。二対一でリードしていました。最
後の大将が引き分ければチームは勝ち
です。私は大将に「自分からは打つ
な。時間がなくなれば相手は無理して
打ってくる。そこを狙え。」と守りを
固める指示しました。ところが、試合
が始まった瞬間、

「小手！」

と打って出ました。「あつ、ますいー」
と思った瞬間、なんと審判の旗は三
本、こちらに上がっていました。試合
後に「なんで打って出た？」と聞くと
「自分なら勝てると思いました。」と答
えました。嬉しい反面、なんで指示に
従わなかったのだとも思いました。勝
たせてあげたいと思うとどうしても口
を出してしまいます。しかし、試合は
選手が自分の意志で戦うものです。こ
れが試合での自立です。

教師や親は、失敗しないように口を
出し、手を出そうとしないでください。
しかし、失敗の積み重ねが子供を成長
させ、自立させます。学校では、温か
く、時には厳しく指導してまいりま
す。御家庭においても、お子様を信
じ、愛情を持って成長を見守って
いただきたいと思えます。御協力、よろし
くお願いいたします。



進路課より

進路課

特進クラスの結果

今年の入試では、文系特進と理系特進あわせて、国公立大学の合格者は四十九人（文系二十五人、理系二十四人）でした。県内の大学では、静岡大学に十三人、静岡県立大学に五人、静岡文化芸術大学に四人、浜松医科大学に二人という結果でした。センター試験では全国平均点が上昇する中、本校でも例年になく高得点を取った生徒が多く見られたものの、全国の出願状況を冷静に分析し合格を勝ち取る生徒や、最後までチャレンジする姿勢を貫き、中・後期試験で合格を勝ち取った生徒もいました。

また、筑波大学や広島大学といったブロック大学や、難関私大である早稲田大学にも合格しました。互いに切磋琢磨し、励ましあう環境がこの結果につながったのだと思います。

特進クラス以外からも国公立大学に二十四名が合格しました。特進クラスがリードする形で、学年全体が大学受験に向かって行くことができました。

三年学習合宿

三年生の学習合宿を七月三十日から八月三日の日程で、浜名湖ロイヤルホテルで実施します。昨年度参加した生徒の感想に「他の人の学習法や集中法が聞けてよかった」「よい刺激を受けてその後の学習時間が増えた。」というものがあり、このことから当初の目的に合う合宿ができたことが分かります。今年も特進クラスは原則全員参加とし、他のクラスも併せて一二〇名の規模で実施します。費用は五万円程かかりますが、部活動引退後、受験勉強の体制作りには最適な合宿です。三年生の積極的な参加を期待します。

補講

今年の三年生の土曜補講は五月十一日から始まります。六月四日から理社の平日放課後補講もスタートします。部活動引退後の学習習慣作りの一助として、積極的な参加を募集していきます。

募集期間については「一学期」「夏休み」「二学期」に分けて受講希望を取る予定です。このことにより、生徒の学習の進捗状況に応じた補講が可能になります。

二年生の土曜補講は五月十一日から、一年生は六月八日からです。また、一・二年生の夏休み補講は前期

のみ五日間です。後日、案内と申込書を配布しますので、積極的に参加してください。

進路室の自習机

進路室では自習机を二十四台設置しています。平日十八時三〇分まで自習できます。教室とは明らかに違う、闘つ雰囲気には満たされた空間を今年も大いに活用してください。

（進路課長 大村生実）

新学期を迎えて

生徒課

新学期が始まって二ヶ月程が経過し、歴史の節目を迎えました。一年生は高校生活に慣れてきたでしょうか。中学校とは異なる生活の連続で疲れが出てくる頃だと思えますので、生活のリズムをつかんでいるか今一度様子を聞いてください。二年生は中堅学年としての自覚を持ち、後輩の指導と自己の生活を充実したものにしてみたいと思います。

三年生は部活の集大成としての最後の大会・発表会に向け、悔いの残らないよう頑張らせてください。また、部活から勉強への切り替えをしつかり行い、受験生として高い進路意識

をもたせてください。

今年度も生徒課は以下の目標を基本として指導していきます。

（一）部活動、特別活動へのきめ細かな支援により、生徒の主体性、自立心の涵養を目指す。

一年生が加わり、各部の活動も活気を帯びています。運動部は総体予選が始まり、三年生にとっては最後の大会に、今までの練習の成果を発揮して上位を目指して精一杯頑張るとともに、二年生へバトンタッチをしっかりと行い良き伝統を引き継いでもらいたいと思います。また、部活動を通して体や心を鍛えると同時に学業との両立を目指して頑張ってもらいたいと思います。

そして、五月三十一日・六月一日に行われる本校文化祭「緑風祭」に向けて生徒会を中心に準備を進めています。今年度のテーマは「革新」です。生徒だけでなく保護者や地域の方々に楽しんでいただけるような文化祭を目指していますので、ぜひ「緑風祭」に足を運んでください。

（二）きれいな教室・廊下、美しい身なり、気持ちの良い挨拶・言葉遣

い、大きな声での校歌斉唱を目指す。

特に明るい挨拶や言葉遣い、マナーの向上に努めさせてください。遅刻に気を付け八時二十分には教室に入るよう心がけてください。三年生は進路実現のため、早めに登校して教室で勉強する習慣をつけてほしいと思います。また、食事と睡眠に留意し、規則正しい生活を心がけてください。年度当初は自転車事故が多発します。特に一年生は中学時代と異なり、通学の距離が長くなり、保護者の皆様にとっては心配のことと思います。並進や一時停止義務違反や音楽を聴きながらの運転、携帯電話を使用しながらの運転はルール違反であると同時に非常に危険で、自転車加害者になる場合もあります。命を守る観点からもマナーを守り、交通法規を守るよう御家庭におかれましては御指導をお願いいたします。

最後に不審者に御注意をお願いします。昨年も多くの情報があり、被害を受けることもありましたが、できるだけ明るいうちを通る。一人で帰らず、複数で帰る。もし、不審者にあつたらすぐに警察に通報する。

以上についてもよろしくお願ひします。

(生徒課長 澤木 徹)

保護者の皆様へ

総務課

PTA新会員の皆様には、去る四月八日の新入生地区会において、浅羽地区から監事一名、評議員一六名(袋井・磐田南・掛川北の三地区の方は理事兼任)を選出していただきました。役員・評議員の方々はじめ会員の皆様には様々な場面で御手数をお掛けしますが、本校の教育活動の推進、教育環境の整備のため力をお貸しいただきますよう、お願いいたします。

主なPTA行事予定をお知らせします。詳細につきましては、その都度生徒を通して御案内させていただきます。

五月二二日(火)

午後(本校体育館)

PTA・後援会総会

六月一四日(金) 午後(本校校内)

授業参観・PTA地区会

部活動保護者会

九月一三日(金)

一学年の学年PTA

九月二〇日(金)

二学年の学年PTA

また、PTA評議員は三つの委員会活動を行っています。

生徒・保健委員会

交通安全街頭指導、祭典補導等

広報・保健委員会

緑風祭バザー運営、写真撮影等

進路委員会

模試監督への協力等

PTA評議員の皆様には、緑風祭、授業参観、学年PTAといった各行事の駐車場係にも御協力いただいています。

総務課では、防災関係、奨学金(在校生・進学後)関係につきましても担当しておりますので、よろしくお願ひします。

(総務課長 牧田 真)

研修課の活動

研修課

研修課は教員の資質向上を目的とした様々な研修を統括している分掌です。県総合教育センター(掛川あすなろ)が主体となって教員を対象

とした研修プログラムを企画立案し、それを各高等学校研修課が受け教員に参加を促すという流れになっています。研修内容は多岐に渡り、長期休暇などを利用して教育に関しての包括的な研修が行われています。教員の資質向上は、お子様方の御成長にそのまま還元されるものであるとの考えのもと、積極的な参加が望まれます。

また国際交流の一環といたしましてオーストラリアの姉妹校、トマス・ハッサール・アングリカン・カレッジとの学校訪問を研修課の主催のもと相互に行っています。グローバル化が叫ばれて久しい中、国際教育は教育の必須課題であり、その機会の提供は必然であると考えております。今年度はオーストラリアから生徒を迎え入れます。本校において留学生と接することも貴重な国際交流の機会でありますので本校生徒の積極的な交流を期待しています。またこの度、ホームステイを快くお引き受けくださいました御家庭には心より感謝申し上げます。

(研修課 久野正幸)



心と身体の健康管理

保健厚生課

(一) 体調管理

学習活動は日々の体調を整えることから始まります。朝のSHRでは、担任による「健康観察」を実施し、生徒の体調を担任が確認しています。学校生活を充実させるためにも、体調管理をしっかり習慣づける事が大切です。そのために、①十分な睡眠、②正しい食習慣、③スマホ等の使用時間管理が必要になります。御家庭での御協力をお願いします。

(二) 教育相談

本年度も「こころの健康調査」を実施し、悩みを抱えている生徒の心の状態の早期把握に努め、教育相談担当者と担任間で情報共有を定期的に行います。また、校内で行うスクールカウンセラーによるカウンセリングも月に1回設定します。学校生活で生じる様々な相談（友人関係、学校生活等）ができますのでお気軽に利用してください。カウンセリング利用については、養護教諭または教育相談担当まで御連絡ください。

(三) 清掃活動とゴミの減量化

学校から出るゴミの量をできるだけ少なくするために、整備委員会が

中心となり、「ゴミの持ち帰り」を生徒に呼びかけています。また、気持ちよく生活できるように、教室前廊下とトイレの行き届いた清掃の呼びかけも委員会で重点的に行っています。

(四) 特別支援・福祉共生教育

福祉委員会が中心となり、特別支援学校等との交流活動、ボランティア活動、福祉施設等での活動を実施します。この活動を通し、「福祉」や「共生」について考え、社会の一員として行動するための豊かな心を育てていきたいと考えています。

(保健厚生課長 横地 亨)

探究する心

図書課

元号が「令和」になり、出典が『万葉集』であると知った時、出典を調べましたか？

調べても「ネット情報」で終了してしまっただ人も多かったことでしょう。ネットの情報は確かに早く、おまかな訳も訓読の仕方も載っています。

しかし、学問を志す多くの人は図書館を目指します。本を調べること

で世界が広がり、思考が深まることを知っているからです。ネットで「巻五」という情報さえ得れば、後は数種類ある『万葉集』巻五を読み比べ、解説によつて「大伴旅人」や「山上憶良」や「太宰府」を知れば彼らやその場所について調べます。人によつては時代背景や歴史的な出来事まで調べ出す人もいます。どうやら当時の知識人の教養である漢詩文の影響を受けているらしい」と知れば、原典に当たってみる人もいるでしょう。新聞各紙を読み比べる人もいるかもしれません。

図書館は、そうした生徒や保護者の皆さんの「探究する心」を支える場所です。読書センター・情報センター・学習センター・教養センターの役割を今年も担っていきたくと考えています。「図書館を目指す人」を育むために今後とも御協力をお願いいたします。

(図書課長 戸塚 恵)

袋井高校生の活動をお伝えします

広報課

広報課では、学校ホームページの

運営、中学生向けのリーフレットの作成、夏に行われる中学生の高等学校一日体験入学や秋に実施される公開授業の企画・運営、学校新聞の発行などを行っています。

学校ホームページでは、「行事等二コース」や「部活動二コース」で、袋井高校の様子をできるだけリアルタイムに紹介したいと思っています。

昨年の一日体験入学では、夏の暑い時期にもかかわらず中学生八十四人、保護者二五二人、一〇六〇人以上の参加がありました。秋の公開授業では中学生とその保護者、さらに在校生の保護者合わせて三三〇人が来校しました。今年度も実施する予定です。袋井高校を理解していただく良い機会になればと思います。

これらを通して、生徒たちが学業、行事、部活動などに取り組んでいる様子をお伝えしたいと思います。個人情報にも配慮していきますので、御協力をお願いいたします。

(広報課長 石川泰三)

校訓 自立・連帯・敬愛

建学の精神

本格的な「人生の展望」を見さだめ、その実現に立ち向かう「自力の養成」は、高校教育が果たすべき重要な課題である。

普通科高校として、学園創造に取り組む本校建学の基調を「志を立つ」強靱な人間の育成」におき、この地を、一人ひとりの生徒が、真に「未来につながる人生の知恵を学ぶ」殿堂とする。

一年部

主任	副主任	11HR	12HR	13HR	14HR	15HR	16HR	17HR	18HR	学年付	
鈴木彰	栗田	塚田 (情報)	鈴木教 (数学)	藤澤 (英語)	蔵原 (体育)	伊藤 (英語)	吉田 (理科)	栗田 (地歴・公民)	鈴木綾 (家庭)	佐藤 (英語)	上村 (養護)
		鈴木彰 (国語)	戸塚 (国語)	久野正勝 (理科)	小林 (地歴・公民)	山下 (数学)	山田 (体育)	鮫島 (国語)	徳野 (数学)	萩田 (地歴・公民)	

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 主体的に文理を選択する力を養う。
2. 積極的な授業態度を育むとともに、家庭学習を定着させる。
3. 学校行事や部活動を通じ、袋井高校の生徒としての自覚と誇りを持たせ、公共心の育成を図る。

●学年主任より

御入学おめでとうございます。

「自分の中でちょっとだけ頑張った。それを重ねてきたことで、今の自分になれたと実感している」これは先日現役引退を表明したイチロー選手の言葉です。昨日の自分より、「ちょっと」だけ頑張る。明日は今日よりも「ちょっと」だけ頑張る。そんな毎日を3年間過ごしたらどんな自分になっているのでしょうか。考えただけでもワクワクします。

高校生には無限の可能性が 있습니다。生徒の可能性を信じ続け、夢の実現をサポートできるように、一年部職員一同、精一杯努めてまいります。

二年部

主任	副主任	21HR	22HR	23HR	24HR	25HR	26HR	27HR	28HR	学年付
大石	原田	浅場 (国語)	荒浪 (体育)	三浦み (体育)	埜村 (地歴・公民)	山内 (英語)	原田 (理科)	西藤 (数学)	三田 (国語)	高林 (理科)
		土屋 (英語)	伊達 (地歴・公民)	植田 (数学)	大石 (国語)	澤木 (体育)	中村 (英語)	河合晃 (理科)	落合 (数学)	丸山 (理科)

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 四年制大学(国公立)進学を見据え、HR活動、集会、面談などを有効活用した進路指導を行う。
「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒85%以上を目指す。
2. 学習の記録の確認を徹底し、授業・補講の準備を充実させる。
平均家庭学習時間、平日120分以上、休日180分以上を目指す。
3. 挨拶、言葉遣い、校則順守など本校生徒としてふさわしい態度を育てる。
「校内外において、本校生徒として自覚ある言動ができた」と答える生徒90%以上を目指す。

●学年主任より

新しいクラスでの生活にも慣れ、部活動では下級生にアドバイスをするなど、上級生らしい姿が見られるようになりました。入学時のことを振り返りますと、着実に成長のあとが見られ、頼もしい限りです。これからは、委員会活動や部活動の中心となって主体的に行動することが求められます。また、学習においては受験へ向けて盤石な力を身に付ける必要があります。生徒のみなさんには、自らすべきことを一つひとつ着実にこなし、充実した学校生活を送っていただきたいと考えております。

学年部一同、精一杯努めてまいりますので、御理解御協力のほどよろしくお願いたします。

三年部

主任	副主任	31HR	32HR	33HR	34HR	35HR	36HR	37HR	38HR	学年付
加藤 (地歴・公民)	堀内 (英語)	榊原 (体育)	増田 (国語)	山口 (数学)	堀内 (英語)	杉浦 (体育)	河合良訓 (数学)	三浦かおり (英語)	長谷川華菜 (数学)	長谷川明彦 (理科)
		牧田 (地歴・公民)	久野正幸 (英語)	石川 (地歴・公民)	堀尾 (国語)	横地 (理科)	大村 (国語)	加藤 (地歴・公民)	鈴木知子 (英語)	原川 (数学)

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 生徒個々の志望に合わせた情報提供や、LHR を利用した進路情報の提供、及びそれによる啓発活動を行う。
2. 予習を前提とした授業を行う。目標を小刻みに立てさせ、優先事項を明確に自覚させる。
3. HR 活動、集会、面談を通じ袋井高校の生徒としての自覚と誇りのもと、公共心の育成を図る。

●学年主任より

いよいよ最終学年となりました。この1年間、3 学年全ての生徒の進路実現のため、教職員一同精一杯務めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

教職員の異動

転入		転出		退職	
主事	非常勤講師	非常勤講師	非常勤講師	主任技能員	教諭
家庭	英語	英語	英語	地公	地公
高橋	藤原	増田	鈴木	山田	早水
剛一	恵里	俊雄	知子	晴美	有紀
		美乃里			雅彦
		中村	河合		深田
		文樹	知之		秀幸
		教諭	教諭		
		達哉	植田		
		新	徳野		
		江身子	西村		
			萩田		
			伊達		
			芳弘		
			航也		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田		
			増田		
			鯨島		
			堀尾		
			小林		
			恵美子		
			葉子		
			真己		
			純次		
			河田	</	